

韓国で口蹄疫が継続発生中

韓国では、現在、口蹄疫が続けて発生しています。

過去の国内発生事例では、韓国で継続発生している際に国内で発生しており、今回も 심각한警戒が必要です。

家畜を飼養している方は、**下記の発生予防ポイント**を参考に、**本病ウイルスの農場侵入を阻止**するようお願いします。

過去の日本での発生をみると
まず韓国で発生しています!



2000年 → 2000年

2002年

2010年 → 2010年
2011年

2014年 → 現在
現在

侵入する可能性
は非常に高い!!

韓国における口蹄疫の発生状況 (2018年3月以降)

2018年4月2日現在

京畿道(2件)

3月26日 金浦(キンポ)市 豚 (A型)
3月28日 金浦(キンポ)市 豚 (血清型検査中)

●: 発生地点

発生確認件数: 2件
(A型: 1件、血清型検査中: 1件)

※ 日は症状の発現日又は検体の採取日
(韓国農林畜産食品部資料より)

発生予防ポイント

- 農場出入口に看板等を設置し、部外者の立入を制限する。
- 農場に持ち込む物品、出入車両の消毒を徹底する。
- 農場や畜舎出入口に踏込消毒槽等を設置し、出入りする人の靴底の消毒を徹底する。
- 可能な限り口蹄疫が発生している国への渡航は自粛する。
- 毎日、飼養家畜の健康観察を行う。

効果的な消毒を実施しましょう！

◎ 効果的な消毒のポイント

- ・ 踏込消毒槽の消毒液は、汚れで効果が薄れるので、**まずは汚れを落としてから消毒**しましょう。また、**消毒薬が汚れていたら、直ちに交換**しましょう。
- ・ 農場に出入りする車両を消毒する時は、タイヤのみを消毒するのではなく、**泥よけの内側部分や運転席の足元スペース**も可能な限り消毒しましょう。

《要注意》

- ★ **逆性石けんは口蹄疫の消毒薬としては不適**です！
- ★ 消毒効果が弱まるので、**酸性とアルカリ性の消毒薬を同時に使用しない**こと！

推奨される
踏込消毒槽の設置方法



② 消毒液の槽
↑
① 水洗の槽

疑わしい症状は直ちに通報を！

口蹄疫は牛や豚などで発熱や食欲不振に始まり、後に**泡状のよだれ**を流したり、**口、ひづめ、乳房に水疱（水ぶくれ）**ができるのが特徴です。

～牛の症状～

写真：宮崎県提供



<A型口蹄疫ウイルスの感染実験の結果>

写真：動物衛生研究部門提供



上顎口唇潰瘍



水疱が破れている

～豚の症状～



接種3日目



多数の水疱病変を確認

接種4日目



➡ **毎日必ず健康観察**し、これらの症状を見つけ次第、直ちに**獣医師**や最寄りの**家畜保健衛生所に連絡**しましょう。

牛では、1頭のみに着目せず、泡状のよだれを多く流している個体が多い、上記の症状が急速に拡がるなど、群としての異状の有無を確認することが重要です。

飼養している家畜に異状がみられた場合には、直ちに獣医師または家畜保健衛生所に連絡ください。

〒035-0072 むつ市金谷2丁目 18-25 電話 0175-22-1254 FAX 0175-22-1259
夜間及び休日の連絡先 090-5841-6810

下北地域県民局地域農林水産部むつ家畜保健衛生所 むつ地区家畜衛生推進協議会